

## 令和2年度第4回高齢者保健福祉推進委員会の概要

1 日時 令和3年3月18日(木)18:30～19:30

2 場所 高知共済会館 3階「桜」

3 出席者

【委員】安田委員、森下委員、伊与木委員、野村委員、宮本(謙)委員、新谷委員、福島委員、廣内委員、徳弘委員、土居委員、森田委員、田村委員、山中委員、入木委員(18名中14名出席)

4 議事内容

「高知県高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業支援計画」の最終案について事務局から概要について説明した後、質疑応答を行った。

### 【質疑応答要旨】

(委員)

・108頁は認知症対策、128頁は高齢者の権利擁護全般、県の認識と県の今後の取組として、128頁に認識を記載いただくことで129頁の成年後見制度の利用促進がいかに重要であるかが明確となると思うので記載の再検討をお願いする。

(事務局)

・ご意見を踏まえてそのように記載を修正したい。

(委員)

・地域型認知症疾患医療センターとして指定されている医療機関はどこか。  
・介護関連の学校の入学者減が著しいなかで、抜本的に魅力ある職業として、若い高校生などが進路として選択できるような新たな人材の参入促進策を検討してほしい。

(事務局)

・地域型認知症疾患医療センターとしては、四万十市の渡川病院、須崎市の一陽病院、高知市の鏡川病院、安芸市の県立安芸総合病院、基幹型として高知大学医学部附属病院が指定されている。

・近年、介護福祉士養成校の充足率は50%、養成校を卒業した場合の県内就職率は95%程度で推移しており、即戦力として活躍いただいている。県としても、どうすれば養成校に入学いただけるかを検討するために、令和3年度の早い時期に関係者と教育委員会も参加した形で協議の場を設けて取組を進めていきたい。

以上